自己推薦書の提出について

この入試では，自己推薦書から読み取れる問題解決能力を重視して選抜を行います。自己推薦書では，これまでに自分で課題を見つけ，自ら学び，自ら考え，主体的に判断して，取り組んできたことについて述べてください。

■自己推薦書として，次に示すものを提出してください。提出後の差し替えや追加はできません。

(1)自己推薦書（表紙）：　本学所定のもの（次ページ）

(2)活動経過報告書：　本学所定のもの（次々ページ）

(3)自己推薦書本文：　自分の問題解決能力を示す文章（A4 サイズ。様式・枚数自由）

(4)添付資料：　自己推薦書本文の根拠となる資料（A4 サイズ。様式・枚数自由）

■自己推薦書及び添付資料の作成について

- 作成にあたり，手書き，PC 等の方法は問いません。
- 活動経過報告書は記載例にしたがって記入してください。幅や高さは変更して構いませんが，1 ページで作成してください。活動経過報告書に誤りがあった場合は，選考上不利になる場合がありますので，正しい情報を記入してください。
- 添付資料は内容ごとに整理して資料名をつけ，その資料名を「自己推薦書（表紙）」の「添付資料名」欄に記入してください。（「添付資料名」欄は自己推薦書本文の目次ではありません。自己推薦書本文の見出しは「添付資料名」には記入しないでください。）
- 賞状・資格認定書等を添付資料とする場合は，写し（コピー）を提出してください。提出された資料は返却できませんので，原本は提出しないでください。
- 本や雑誌に掲載された文章や記事を添付資料とする場合は，自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。
- 全体の構成は自由に考えてください。
- パワーポイント等で作成されたスライド形式の資料は，本文や添付資料に含めることはできません。必要があれば同等の内容をきちんと文章で表現してください。
- 動画やプログラム等を収めた USB メモリや DVD 等を提出することはできません。誤って提出された USB メモリ等は返却できません。
- 志願者を含めた複数の者による共同研究の成果等は，志願者の担当箇所が判るようにして提出してください。
- 中学校までの成果を本文に含める場合は，要点のみを本文に記載してください。添付資料とする場合は，中学校までの成果であることが分かるようにしてください。
- 添付資料に英語以外の外国語がある場合は，その和訳を添付してください。
- 写真や小さい資料は A4 サイズの用紙にのり付けし，大きな資料は縮小コピーをして A4 サイズに統一してください。付箋は貼らないでください。
- クリアファイルやフラットファイル，ステープル（ホチキス）等を使用せず，添付資料も含めて必ず長辺 2 箇所に穴を開け，紐等で綴じてください。
- 指示が守られていない書類は，採点の対象から除く場合があります。
- 生成 AI を用いて作成した文書には，必ず下線を引いて当該箇所を示してください。

■体育専門学群を志願する場合，運動種目の成績・記録についての証明資料は，「自己推薦書」ではなく「運動特技実績申告書」に添付してください。

受験番号	*

令和 8 年度　アドミッションセンター入試　自己推薦書（表紙）

フ リ ガ ナ		出身学校（注）	学　校　名	
氏　　名			卒業（見込）年　月	年　月
生 年 月 日	年　月　日生		設　置	国立 ・ 公立 ・ 私立
志望学群・学類	学群　学類	大学卒業後の希望進路		

（注）高等学校卒業程度認定試験の合格者は「高認」，大学入学資格検定の合格者は「大検」と学校名の欄に記入してください。

自己推薦書本文タイトル

添付資料名

注：「添付資料名」欄は自己推薦書本文の目次ではありません。自己推薦書本文の見出しは「添付資料名」には記入しないでください。
添付資料内で使用した個別の図や写真の番号・説明についても，以下には記載しないでください。

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

活動経過報告書

自己推薦書の要約 （400 字以内）	
研究・活動期間 （主なもの 3 つまで）	① ② ③
実施形態 （上で挙げたもの に対して）	① ② ③
共同研究・ 継続研究の別 （上で挙げたもの に対して）	① ② ③
指導や補助の内容 （各内容について 詳細に）	

活動経過報告書（例）

自己推薦書の要約 （400 字以内）	
研究・活動期間 （主なもの 3 つまで）	① 「A に対する B の効果に関する研究」2023 年 4 月～2025 年 8 月 ② 「C についての研究」2023 年 4 月～2024 年 8 月 ③ 「D へ参加」2024 年 8 月（5 日間）
実施形態 （上で挙げたものに対して）	① 高校の課題研究 ② 高校の部活動 ③ E 大学主催「F プログラム」
共同研究・ 継続研究の別 （上で挙げたものに対して）	① ○○○○，○○○○との 3 名の共同研究 ② 2005 年から続く G 部の継続研究。2023 年は○○○○，○○○○，○○○○との 4 名の共同研究，2024 年は個人研究。 ③ 個人参加
指導や補助の内容 （各内容について詳細に）	①と②の研究の全般的な指導は，在籍校の生物教員から受けた。 ①の H に関するアイデアは，塾のチューターからアドバイスを受けた。 ②の I に関する調査は，同じ部活動の後輩 2 名に手伝ってもらった。 ②の J に関する分析方法については，K 大学○○○○教授から指導を受けた。 ②の L に関する分析は，M 大学の設備を借りた。 ① ②③および全体文章の添削は保護者が行った。